

(平成18年1月分)

種 類	市況の概要
野 菜	<p>中旬までは、年末以降の寒波と降雪の影響による入荷減がレタス等の葉菜類にみられたものの、その後は次第に回復し、全体として入荷量は、前年同期を3%上回った。価格は、野菜全体の品薄感と気温の低さから鍋物商材等の一般需要が比較的好調で、前年同期を10%上回った。</p> <p>品目別には、はくさい・キャベツ・トマト・かぶら・ばれいしょ・たまねぎは入荷増となり、価格は、キャベツ・ばれいしょが前年同期を上回り、たまねぎがほぼ前年並みとなった他は、前年同期を下回った。レタス・きゅうり・ピーマン・長大根は入荷減となり、価格は、品薄感から高値となり、前年同期を上回った。</p> <p>葉菜類は、入荷量は6%増加し、価格は15%上回った。 果菜類は、入荷量はほぼ前年並み、価格もほぼ前年並みとなった。 根菜類は、入荷量は5%減少し、価格は13%上回った。 土物類は、入荷量は8%増加し、価格は5%上回った。</p>
果 実	<p>年末以降の寒波の影響で、いちご・メロン等の入荷が減少した他は、秋までの高温の影響による着色不良や小玉傾向等の品質の低下が一部にあったものの、生育状況は概ね良好で、全体として入荷量は、ほぼ前年並みとなった。価格は、メロンが低温による生育遅れと加温用燃料の高騰により作付を控えたため入荷減となり高値となったが、全体としては、台風被害により高値であった前年同期を14%下回った。</p> <p>柑橘類は、入荷量は4%減少し、価格は26%下回った。 りんごは、入荷量は11%増加し、価格は23%下回った。 いちごは、入荷量は7%減少し、価格は3%上回った。 メロンは、入荷量は25%減少し、価格は50%上回った。</p>

主要品目	市況の概要
はくさい	<p>愛知・兵庫・岡山・九州を主力に茨城からの入荷。低温と早魃の影響によりやや小玉傾向となったものの一般需要は良く、入荷量は、前年同期を15%上回った。</p> <p>価格は、入荷増のため、台風被害で高値となった前年同期を5%下回った。</p>
キャベツ	<p>愛知・兵庫・和歌山・大阪・岡山を主力に九州からの入荷。九州以外の産地では低温と早魃の影響による小玉傾向もあったが、全体として台風被害の大きかった前年同期を11%上回る入荷となった。</p> <p>価格は、入荷増であったが一般消費が良く、前年同期を11%上回った。</p>
レタス	<p>兵庫・徳島・愛媛・岡山を主力に九州からの入荷。年末の寒波時の前進出荷とその後の低温と早魃の影響による小玉傾向と生育不良により、入荷量は、前年同期を19%下回った。</p> <p>価格は、入荷減のため品薄感が強く、前年同期を53%上回った。</p>
きゅうり	<p>宮崎を主力に高知・愛媛・徳島からの入荷。低温の影響で生育が遅れ、入荷量は、前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は、入荷減と品薄感から、前年同期を39%上回った。</p>
トマト	<p>熊本・福岡を主力に三重からの入荷。九州産が年末の寒波による生育遅れで出荷がずれ込み、三重産の出荷と重なり、全体として入荷量は、前年同期を11%上回った。</p> <p>価格は、入荷増のため、前年同期を22%下回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎・高知を主力に入荷。寒波と天候不順で生育悪く、入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、入荷減のため、前年同期を18%上回った。</p>
長大根	<p>徳島・長崎・神奈川を主力に入荷。寒波の影響で生育悪く、入荷量は、前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は、入荷減と比較的品質が良かったため、前年同期を43%上回った。</p>

かぶら	<p>京都・滋賀からの入荷。寒波の影響もあったが品質は良く、入荷量は、前年同期を4%上回った。</p> <p>価格は、入荷増と加工需要が少なく、前年同期を22%下回った。</p>
ばれいしょ (メイクイン含む)	<p>北海道を主力に長崎・鹿児島からの入荷。北海道産は順調に入荷し、全体として入荷量は、前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったが、前年同期を8%上回った。</p>
たまねぎ	<p>北海道を主力に兵庫からの入荷。北海道産が生育期の低温の影響により小玉傾向となったものの一般需要は良く、入荷量は、前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったが、ほぼ前年並みとなった。</p>

主要品目	市況の概要
みかん	<p>和歌山を中心に愛媛・福岡からの入荷。生育期の高温の影響で着色が遅れていたものの出荷がずれ込み、入荷量は、前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は、入荷増と小玉傾向のため、前年同期を36%下回った。</p>
伊予柑	<p>愛媛からの入荷。生育期の高温と早魃の影響による小玉傾向と着色遅れのため、入荷量は、前年同期を31%下回った。</p> <p>価格は、入荷減であったが品質の低下のため、前年並みとなった。</p>
ふじ (サンふじ含む)	<p>青森を中心に秋田・岩手・長野からの入荷。生育期の高温の影響による着色不良が一部産地にあったが、全体として入荷量は、前年同期を14%上回った。</p> <p>価格は、入荷増と品質の低下のため、前年同期を16%下回った。</p>
いちご	<p>福岡・熊本・佐賀を中心に愛媛からの入荷。天候不良による着色の遅れと寒波による生育の遅れにより、入荷量は、前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は、入荷減のため、前年同期を3%上回った。</p>
アールスメロン	<p>静岡・愛知・高知・熊本・宮崎からの入荷。低温の影響による生育遅れと、加温用燃料の高騰により九州産が作付を控えたこと等により、入荷量は、前年同期を25%下回った。</p> <p>価格は、下位等級が多かったものの、入荷減と業務需要が多かったため、前年同期を52%上回った。</p>